

## 第 73 回 社会を明るくする運動 ～ 犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

# 保護司もかっちえて落語会 入船亭扇遊・瀧川鯉昇

突然ですが、「保護司」という仕事があるのをご存じでしょうか？  
ご存じだとは思いますが・・・保護司とは、地域で更生保護の活動を担い、  
罪を犯したり、非行に走ってしまった人が悔い改めて、社会復帰できるように指導・  
相談など保護観察を行い、さらに、地域及び関係団体と協力しながら、犯罪予防  
の活動も行っている民間のボランティアのことです。

わが故郷にも、「佐世保地区保護司会」があり、その会長さんから連絡があり、  
お会いしたときに、こう言われました。

「保護司会のために、かっちえて落語会に協力していただけないでしょうか」と。  
その理由としての、先方の考えを、以下に箇条書きします。

- ・ “笑い”を通して市民の豊かな心を醸成するとともに、更生保護への理解と青少年の健全育成を推進し、明るい社会を目指したい。
- ・ 犯罪や非行をおこさないまちづくりには、人々に笑いがあふれ、人情味豊かな日常生活を醸成することにあると考え、今回、落語会を開催して、明るい社会の基盤づくりとしたい。
- ・ 小学生から高校生までが活動していて、市民たちの人気と認識の高い落語っ子たちの力を借りて、保護司への理解を広めたい。
- ・ さらに、中央の著名な落語家もお招きして、保護司への市民の関心を高めたい。
- ・ 社会を明るくする運動に、“笑い”を取り入れることにより、他の団体による人権擁護運動や、青少年の“こころねっこ運動”とも連携できる。
- ・ “かっちえて落語会”の協力があれば、広く市民の参加が期待でき、現在実施している“こころに花を咲かせようプロジェクト”に繋がる活動が期待できる。
- ・ ついては、かっちえて落語会主宰者に、コーディネートと当日の司会を頼みたい。

とまあ、上記のような内容でしたが、行い正しき人たちの頼みに応えなければ、男が廃る。

というわけで、「老骨浮いたシワシワの肌ですが、こんな私でよければ、ひと肌脱ぎましょう！」と啖呵を切って、やることにしました。詳細は、添付のチラシをご覧ください。

『佐世保かっちえて落語会』のファンの方ならご存じでしょうが、ここでも地元の子どもたちが前座を務め、佐世保にまつわる“地産地笑”の創作落語を披露します。

ちなみに「中央の著名な落語家」については、いろんな噺家さんをお呼びすることはできますが、保護司会らしいキャスティングがいいだろうと考え・・・瀧川鯉昇・入船亭扇遊両師にしました。

何故ならば、鯉昇さんの弟子に、名古屋の元暴走族総長だったというのがいまして、礼儀作法、着物のたたみ方から落語の稽古まで、それこそ一から教えて、真打（瀧川鯉斗）に育て上げた実績があるので、鯉昇さんは“噺家の保護司”じゃないか! と思ひましてね。

扇遊さんは、その得意とする噺から選びました。落語に『火事息子』という演目がありまして、親に反抗し、家を出て勘当された息子が、偶然にも火事場で両親と再会した時の人情噺ですが、扇遊さん得意の演目でして・・・ネ、このお二人なら、保護司の会にふさわしいでしょ?

てなところで、こういうことをきっかけにして、皆様にも保護司への理解を深めていただければ嬉しいですねえ。人気・実力ともにトップクラスの扇遊・鯉昇両師の落語を、佐世保に居ながら、無料で! 無料で鑑賞できる希少で貴重な機会なので、ぜひ! ご来場いただきたいですね。

笑う門には福来る。笑顔の人には幸来る。会場でお会いいたしましょう!

( 文責・海老原靖芳 )

## 2023年8月25日(日) 開演午後6時 佐世保コミュニティーセンター5F 入場料:無料

※ 往復はがきでお申し込みください。(お一人5席まで)  
締切日は8月10日(木)  
定員になり次第締め切らせていただきます

※チケット販売・問合せ先

“社会を明るくする運動”佐世保地区推進委員会/  
佐世保地区保護司会

佐世保市干尽町 2-5 観光交流センター2F Soup-Up させぼ内

Tel:0956-46-6868 (月~金 9:00~18:00)